



〔鉄道〕小田急小田原線 梅ヶ丘駅 北口から徒歩5分
 小田急小田原線 豪徳寺駅、東急世田谷線 山下駅から徒歩9分
 京王井の頭線 東松原駅 西口から徒歩9分
 〔バス〕渋谷駅から小田急バス(渋54 経堂駅行)光明学校前で降車
 乗車時間21分



〔鉄道〕都営地下鉄大江戸線 新江古田駅から徒歩10分
 〔バス〕西武池袋線 江古田駅から
 関東バス(中41 中野駅行)江古田区民活動センターで降車
 乗車時間4分
 JR中野駅北口から
 関東バス(中28 江古田駅行)
 関東バス(中27 江古田の森行)
 「中28」「中27」とともに江古田の森で降車 徒歩0分

社会福祉法人 南東北福祉事業団／一般財団法人 脳神経疾患研究所

東京リハビリテーションセンター世田谷

〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-1
 TEL.03-6379-0427 FAX.03-6379-0428
 E-Mail: setagaya@mt.strins.or.jp
<http://www.tokyo-rehabili-recruit.jp>



社会福祉法人 南東北福祉事業団

東京総合保健福祉センター 江古田の森

〒165-0022 東京都中野区江古田3-14-19
 TEL.03-5318-3711 FAX.03-5318-3712
 E-Mail: egotanomori@mt.strins.or.jp
<http://egota.jp/>



社会福祉法人 南東北福祉事業団

東京総合保健福祉センター 江古田の森アネックス

〒165-0023 東京都中野区江原町2-8-2
 TEL.03-5983-5321 FAX.03-5983-0290

すべては患者さん・利用者さんのために。



南東北グループ
 社会福祉法人 南東北福祉事業団
 一般財団法人 脳神経疾患研究所



つなぐ。

医療・介護・福祉の大規模複合施設

2019年4月OPEN

東京リハビリテーションセンター世田谷

多機能複合型の総合保健福祉施設

東京総合保健福祉センター 江古田の森

すべては患者さん・利用者さんのために。



南東北グループ
 社会福祉法人 南東北福祉事業団
 一般財団法人 脳神経疾患研究所

ワン・ストップで“在宅・通所・入所”サービスをご利用いただける大規模複合施設です。



2019.4.1開設

東京リハビリテーションセンター世田谷

住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心して暮らしていただくために。

世田谷区の《梅ヶ丘拠点整備プラン》に基づいて南東北グループが開設・運営する、医療・介護・福祉の大規模複合施設です。「すべては患者さん・利用者さんのために」を院是・団是とする南東北グループは、地域の皆様とともに、“住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心して暮らせる地域リハビリテーション・ケア体制”の構築をめざします。

“地域リハビリテーション・ケア体制”を構築します。

地域の医療施設をはじめ関係機関との連携のもと、可能な限り在宅で生活できる地域社会づくりをめざします。また、健康増進・介護予防に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。

地域社会と、地域環境との共生に努めます。

地域や家庭とのつながりを重視し、在宅復帰後も安全・安心に生活できるよう、家族支援・地域支援などのサービスを提供します。また、世代や障害を越えたネットワークづくりを推進し、安心と生きがいのある参加型の地域社会をめざします。

グループの総合力を最大限に活かします。

南東北グループがこれまでに培ってきた経験知を結集するとともに、グループの他の施設と連携・協力し、その総合力を活かします。

目の前の、一人ひとりを大切にします。

利用者さん一人ひとりを大切に、個々の生活リズムを尊重しながら、潜在能力を引き出す介護・支援を心がけます。職員に対しては、南東北グループで進めている“ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくり”を推進するとともに、職員一人ひとりの能力が最大限開花するよう、研修制度を充実させます。

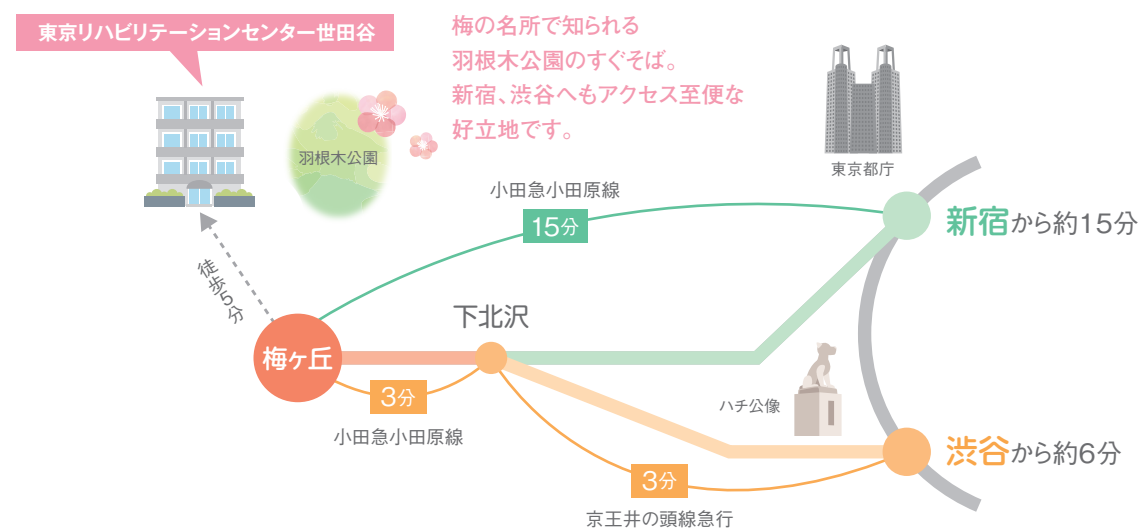
つねに、さらなる向上に挑戦し続けます。

南東北グループは、医療・介護から保健・福祉に至るサービス提供ネットワークの形成をめざし、前例のないことにも果敢に挑戦してきました。当施設でも、区や関係機関と連携しつつ、先駆的な取り組みを行っていきます。

施設ご案内

障害者(児)施設は、社会福祉法人 南東北福祉事業団が、高齢者施設と回復期リハビリテーション病院は、一般財団法人 脳神経疾患研究所が整備・運営します。

施設とご提供するサービス	
8F	◆介護老人保健施設(全てユニット型個室) [定員100名] ◆事業所内保育所
7F	◆介護老人保健施設
6F	◆介護老人保健施設
5F	◆障害者支援施設 [定員60名] ◆障害者ショートステイ(ユニット型個室) [定員20名]
4F	◆障害者支援施設 ◆障害児ショートステイ(ユニット型個室) [定員8名]
3F	◆回復期リハビリテーション病院 [4床室、個室4室：92床]
2F	◆児童発達支援 [定員50名] ◆生活介護 [定員60名] ◆放課後等デイサービス [定員50名] ◆自立訓練(機能訓練・生活訓練) [定員20名]
1F	◆通所リハビリテーション [定員80名] ◆認知症対応型通所介護 [定員12名] ◆療養通所介護 [定員9名] ◆訪問介護・居宅介護(障害者) ◆訪問看護 ◆訪問リハビリテーション ◆居宅介護支援事業所 ◆定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ◆基幹相談支援センター ◆障害者(児)相談支援事業 【その他】 ◆地域交流スペース ◆職員食堂 ◆売店



住 所／東京都世田谷区松原6-37-1

最寄駅／小田急小田原線 梅ヶ丘駅 北口から徒歩5分

小田急小田原線 豪徳寺駅、世田谷線 山下駅から徒歩9分

バ ス／渋谷駅から小田急バス(渋54 経堂駅行)光明学校前で降車 乗車時間21分

『中野区立江古田の森公園』のなかにある、 高齢者と障害者が共生する大規模複合施設です。



2007.4.1開設

東京総合保健福祉センター江古田の森

福祉サービスの質と、環境パフォーマンスの向上を推進するために。

『東京総合保健福祉センター江古田の森』は、地域の高齢者福祉、および障害者福祉の拠点です。地域包括ケアシステムの核として、「生涯、住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けて」いただくために、地域の皆様や、利用者、家族に、「安全と安心」を提供する総合保健福祉施設です。

利用者の自立と自己実現をめざしています。

地域の医療機関や居宅介護事業者との連携のもと、医学的、教育的、心理的、社会的な「地域リハビリテーション体制」を構築し、利用者のクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を向上させることで、自立と自己実現をめざしています。

介護・福祉サービスによる支援は、あくまでも利用者の自己決定と選択を尊重し、何よりも利用者の願いや思いを大切に、つねに利用者の気持ちに寄り添って行っています。

介護・福祉サービスの向上と、環境負荷の軽減と。

職員は、専門性の向上のために不断の努力をし、研修、および研鑽を

積んでいます。より良い福祉サービスの実現と、環境負荷の軽減のために、施設の目的・目標を設定するとともに、定期的に見直しを行っています。統合マネジメント・システムを継続的に改善していくことで、福祉サービスの質の向上と、環境パフォーマンスの向上を図っています。

施設環境の安全性と快適性を維持しています。

介護・福祉サービスの提供にあたっては、事故防止、感染防止、汚染防止を最優先事項とし、考え得る万全の対策を講じて、施設環境の安全性と快適性の維持に努めています。

2010年9月3日、ISO規格を認証取得しています。

ISO規格とは、組織の品質活動や環境活動を管理するための、国際的なマネジメント・システム規格です。品質はISO9001、環境は14001の規格が該当します。

● ISO9001……2015版／JIS Q 9001……2015版

● ISO14001… 2015版／JIS Q 14001… 2015版

※「JIS Q」は、日本工業規格のうち、管理システム分野の規格です。

■ 施設ご案内

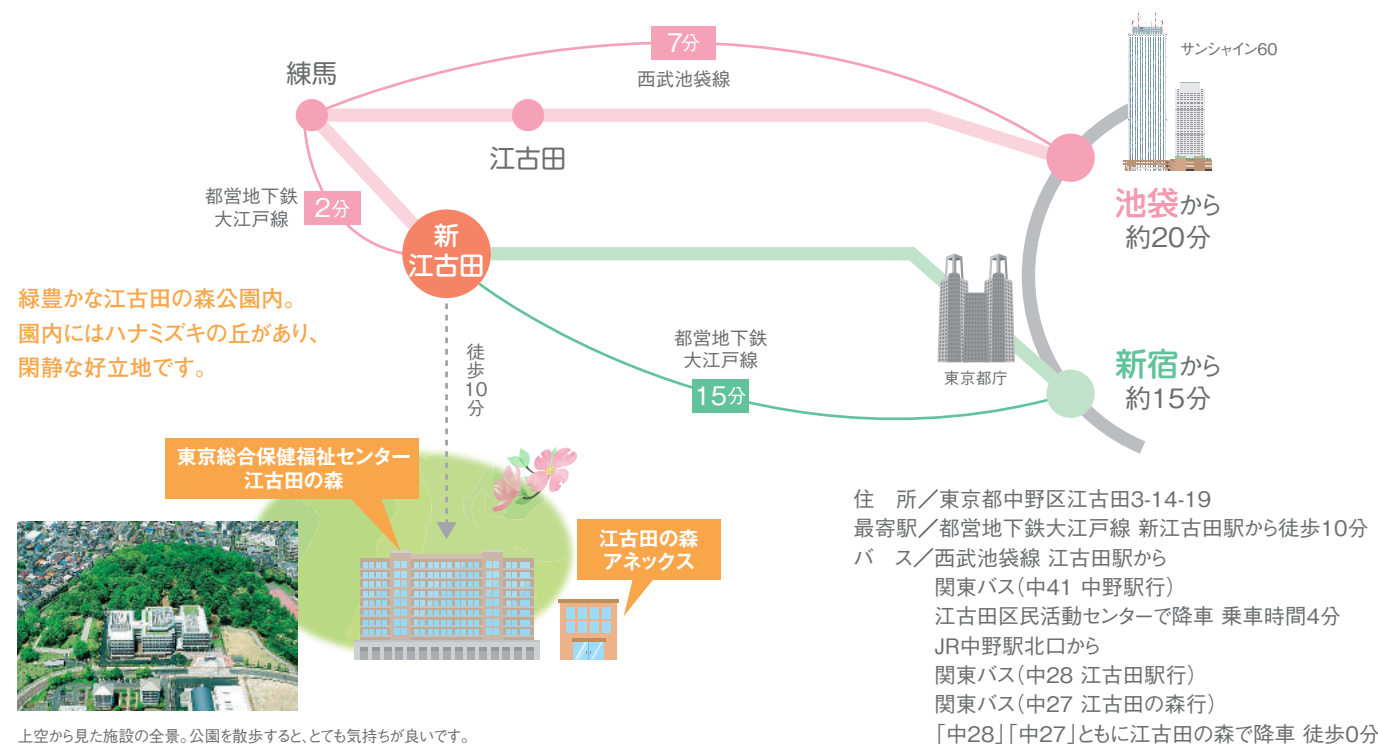
社会福祉法人 南東北福祉事業団が整備・運営しています。

● 江古田の森 本館

施 設 と ご 提 供 す る サ ー ビ ス		
7F	◆展望浴室	
6F	◆ケアハウス〔定員60名〕	
5F	◆特別養護老人ホーム〔長期：定員100名 ショートステイ：定員20名〕	
4F	◆特別養護老人ホーム	
3F	◆介護老人保健施設〔定員100名〕(ショートステイは空床型)	
2F	◆介護老人保健施設 ◆障害者支援施設〔入所支援：定員40名 生活介護：定員70名 ショートステイ：定員4名〕	
1F	◆障害者支援施設 ◆通所リハビリテーション〔長時間：定員45名 短時間：定員50名〕 ◆認知症対応型通所介護〔定員12名〕 ◆訪問看護 ◆事業所内保育所	◆通所介護〔定員45名〕 ◆訪問介護 ◆訪問リハビリテーション ◆居宅介護支援事業所 ◆防災拠点型地域交流スペース ◆売店
B1	◆職員食堂など	

● 江古田の森 アネックス(別館)

施 設 と ご 提 供 す る サ ー ビ ス	
3F	デイサービスセンターゆずりは ◆認知症対応型通所介護〔定員12名〕
2F	ケアホームやまゆり ◆障害者グループホーム〔長期：定員7名 ショートステイ：定員1名〕
1F	デイサービスセンターゆずりは ◆通所介護〔定員35名〕





医療・介護・福祉を、**プロ**がつなぐ。

職員一人ひとりが、専門職としての研鑽を積み重ねています。

患者さん・利用者さんに信頼される専門職として、さらには、チームの一員として。
助け合い、競い合いながら、経験を積み、知見を深め、スキルに磨きをかける…。
私たちは、医療・介護・福祉をつなぐプロフェッショナルな集団です。



看護師



介護支援専門員



介護福祉士



社会福祉士



理学療法士



事務員



管理栄養士



保育士

私たちは、利用者さんと、こんな仲間を待っています。

一人ひとりの
“人権”を守る
プロをめざす人



加齢や障害によって、生活上のさまざまな困難を抱えておられる患者さん・利用者さんの助けをする私たちにとって、もっとも大切なのは、「一人ひとりを、人として尊重する」という姿勢です。使命を全うするためには、何よりも、確固とした倫理観と、“人権”意識を持っていることが大前提になります。

“想像力”と
“創造力”の豊かな
プロをめざす人。



私たちの仕事は、単なる「生活のお手伝い」ではありません。「人対人の、全人格的な双方向のやりとり」です。まず、その人を理解しなければなりません。何よりも、理解しようとする姿勢と、その人の境遇や、思いを推し量る“想像力”が必要です。つねに、「困りごとをタイムリーに支援できる」ことが求められます。それを実践するためには、“創造力”が不可欠です。支援は、決して画一的なものにはなりません。「サービスを創り出す」が必要な場面もあります。

きちんと
“自己理解”できる
プロをめざす人



支援させていただく側の価値観や考え方が、支援の内容を大きく左右します。より良い支援をするためには、それぞれの場面で、あらかじめ「どう考え、どう行動するか」を、きちんと“自己理解”できていなければなりません。さまざまな機会を利用し、自分を客観的に見つめられるようになることが大切です。

不断の“研鑽”で、
“支援”のプロを
めざす人



「人」に対する価値観が、この仕事を、大きく左右します。より良い支援を行うためには、「人」とは何か、ということを絶えず考えていなければなりません。そのためには、広範な知識が必要です。さらに、さまざまなトレーニングを日々積み重ねていこうとする意志を持ち続けなければなりません。“研鑽”を積み重ねながら、自らも「人」として向上していく——きっとゴールはありません。しかし、それこそが、この仕事の尽きることのない魅力なのです。

キャリアパスのための、多彩な研修プログラムが用意されています。

どのような職務に、どのような立場で就くか、そこに到達するためにどのような経験を積み、どのようなスキルを身につけるか——委員会主催の研修(全職員参加)をはじめ、施設ごとの勉強会開催や、外部研修への参加支援など、キャリアパスのための多彩な研修プログラムが用意されています。

■ 南東北グループのキャリアパス

経験年数	資 格	職 種	役職	研 修	
				組 織	専 門
10年目以上	主任介護支援専門員 認定社会福祉士	管理者 所属長	主任 (心得)	管理者研修等	認知症介護指導者 養成研修等
5～9年目	介護支援専門員 相談支援専門員	サービス管理責任者 サービス提供責任者 介護支援専門員 生活相談員・支援相談員 フロアーリーダー ユニットリーダー サブリーダー	副主任 (心得)	リーダー研修等	認知症介護実践者研修・ リーダー研修、強度行動 障害支援者養成研修、 実習指導者、ユニット リーダー研修、たんの吸 引等実施のための研修 等
3～5年目	介護福祉士 社会福祉士			トレーナー研修 中堅職員研修等	
1年目	介護職員初任者研修 (ヘルパー2級)	介護職・支援員		新入職員研修 OJT研修等	認知症介護基礎研修等



医療・介護・福祉を、**チーム**でつなぐ。

在宅での暮らしをめざして、チームケアを提供します。

当施設は、在宅復帰・地域移行のための先駆的モデル事業をめざしています。
各種専門職によるチームケアをシームレスに提供するため、
さまざまな活動を行っています。



サービス担当者会議



元気あふれるリハ科職員



学会発表



移乗介助の研修



日中活動(機織り)



喫茶店

利用者さんはもちろん、私たちも、幸せな気持ちになる仕事です。

選んだ理由のひとつは、 研修制度の充実。

中学のとき、デイサービスの施設を職場見学して以来、介護の仕事に興味を持ち続けていました。この施設を選んだのは、見学に来たとき、若い職員の方が多く、いきいきと働いておられたからです。研修プログラムが充実していることも魅力でした。

五十畑美悠 Miyu Ikabata

介護老人保健施設
介護職(2017年入職)



■ 職員の、ある1日。

8:30 出勤・申し送り

夜勤職員からの申し送りを受け、利用者さんの情報、医務ノートなどを確認します。



8:45 フロアへ

利用者さんの排泄、移乗介助、バイタル測定、活動の準備を行います。

10:30 午前の業務

(散歩・趣味活動など)

11:30 利用者さんの
昼食介助



12:30 お昼休憩

13:30 午後の業務

(入浴介助・リハビリテーションなど)

16:00 記録作成・引き継ぎなど

利用者さんの情報・状況などを記録し、共有します。



17:30 業務終了

ハンディキャップを軽減し、クオリティ・オブ・ライフを高めます。

■ 在宅での「人間らしく、自分らしい」暮らしをめざして。

リハビリテーションは、一般的には、怪我や疾患回復期の機能訓練というイメージですが、語源は、ラテン語のre(再び)-habiris(適した)で、広義には、身体的な機能はもちろんのこと、精神的にも、社会的にも支障のない生活水準を取り戻すことです。『東京リハビリテーションセンター世田谷』、『東京総合保健センター江古田の森』は、障害者や高齢者のハンディキャップを可能な限り軽減し、在宅で、「人間らしく、自分らしい」暮らしをしていただくために、医療・介護・福祉サービスを有機的・総合的に提供する大型複合施設です。



利用者さんの作品が展示される絵画展。



パワーリハビリテーションで動作性・体力を改善。



利用者のみなさんにお好きな音楽を…。

「与える」より、 「得る」ほうが多い仕事です。

最初は、障害を抱えている人の役に立ちたいと思っていたのですが、気がついてみると、得るもののほうがずっと多いのです。『東京リハビリテーションセンター世田谷』は、最先端の医療・介護・福祉の複合施設として注目されています。オープンが待ち遠しいです。

中村洋介 Yosuke Nakamura

障害者支援サービス
生活支援員(2009年入職)



職員や利用者さんと、さまざまなレクリエーション。



利用者さんに快適な暮らしを…。

医療・介護・福祉と人を、**南東北グループ**が つなぐ。
そこには、生涯続けられる“仕事”があります。

介護保険がスタートした2000年以降、南東北グループは、90年代から取り組んできた介護・福祉の分野をさらに強化。
首都圏にも、リハビリテーション医療と介護・福祉分野がスムーズに連携する施設を次々と開設してきました。
そこでは、今日も、医療・介護・福祉をライフワークと考える先輩たちが、いきいきと働いています。



●一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院(福島県郡山市)

最先端のがん治療



●南東北BNCT研究センター



●南東北がん陽子線治療センター

南東北グループは、
働く人の快適・安心と親睦をサポートしています。

保育所



事業所内保育所の設置に努めるなど、
働く女性をバックアップして。

職場に保育所があるので、退社時も余裕。パパも、ママも、安心して、
仕事に打ち込めます。

食堂



売店や職員用の食堂を設置するなど、
働きやすい環境を整えて。

栄養バランスのとれた、おいしいメニューが人気です。

休暇



“ワーク・ライフ・バランスに配慮した
職場づくり”を、積極的に推進して。

公休は、年間122日。年次有給休暇のほか、リフレッシュ有給もあり。

イベント



運動会や球技大会、よさこいなど、
グループあげてのイベントも。

施設ごとのアット・ホームなレクリエーションから、1,000人規模で開催するグループあげてのイベントまで。サークル活動も盛んです。

福島県郡山市の
『総合南東北病院』を核として、
日本全国の約100カ所に拠点。



福島県

一般財団法人 脳神経疾患研究所

- 総合南東北病院
- 南東北医療クリニック
- 南東北眼科クリニック
- 南東北がん陽子線治療センター
- 南東北BNCT研究センター ほか
- 南東北福島病院

医療法人社団 三成会

- 南東北春日リハビリテーション病院

医療法人社団 新生会

- 南東北第二病院

社会福祉法人 南東北福祉事業団

- 総合南東北福祉センター
- 南東北シルクロード館
- 総合南東北福祉センター八山田

首都圏



- 医療法人財団 健貢会 東京クリニック
(東京都千代田区)



- 医療法人財団 健貢会 総合東京病院
(東京都中野区)



- 医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院
(神奈川県川崎市)